

日本褥瘡学会で使用する用語の定義・解説

—用語集検討委員会報告2—

日本褥瘡学会 用語集検討委員会

委員長 上出 良一

副委員長 青木 和恵

委員 阿曾 洋子・河合 俊宏・柵瀬信太郎

杉元 雅晴・杉山みち子・館 正弘

立花 隆夫・東口 高志・宮下 弘子

渡邊千登世

顧問 中條 俊夫

はじめに

本委員会で検討した結果は「日本褥瘡学会で使用する用語の定義・解説 —用語集検討委員会報告1—」として、褥瘡会誌9(2):228-231, 2007に24語が掲載された。そのなかで用語の抽出経緯について述べてあるが、当初検討用語候補として2732語があげられ、そのなかから42語が検討用語として抽出された。今回未公表分を整理、追加して理事会で承認された21語を加え、計45語を公表することができた。

今後、検討用語候補のなかから重要性の高い用語をさらに抽出し、引き続き検討を加えていく予定である。ご意見、ご要望については日本褥瘡学会事務局までお寄せいただければ幸いである。

用語の定義・解説

【圧縮応力】

compressive stress

外力によって圧縮される方向に働く応力である。

【応力】

stress

物体に外力が働いている場合に、内部に生じる単位面積あたりの力(単位はPa:パスカル)である。発生する方向によって、圧縮応力、引張応力、剪(せん)断応力がある。複雑な人体組織に関しては、単純な材料力学のモデルでは解析するのはむずかしく、有限要素法モデルなどでの解析が必要である。

【感染】

infection

感染は、病原微生物が身体内に侵入して増殖し、発赤、腫脹、熱感や疼痛などの炎症症状を呈するように

なることをいう。一定以下の細菌増殖で、明らかな臨床症状を伴わない場合を定着(colonization)という。感染が局所から全身に及ぶと敗血症や菌血症を惹起する。

【ずれ】

slide, shear

ずれには、対象とする物体の移動した変位量を表す“ずれ量”(長さ、単位はm)と、対象とする物体に加わっている力を表す“ずれ力”(力、単位はN)という2つの概念がある。前者がslide、後者がshearに該当する。

【剪(せん)断応力】

shear stress

外力によって、任意の断面方向に働く応力である。

【底つき】

bottoming out

体圧分散用具を用いても、身体表面が下の硬い支持面に接し、体圧分散が効果的に行われていない状態。体圧分散用具の下に手の平を上にして腕を差し入れようとしたときに、体圧分散用具上にある身体に触れたり、重みを感じられる現象。

【体圧分散用具】

pressure redistribution devices

ベッド、椅子などの支持体と接触しているときに単位体表面に受ける圧力を、接触面積を広くすることで減少させる、もしくは、圧力が加わる場所を時間で移動させることにより、長時間、同一部位にかかる圧力を減少させるための用具。臥位時に使用するものには特殊ベッドのほか、マットレスや布団を重ねて使用す

る上敷きマットレス、マットレスや布団と入れ替えて使用する交換マットレスなどがあり、座位時には椅子や車いすに敷いて使用するクッションおよび、姿勢を整えるパッドなどがある。体圧分散用具に用いる材質には、エア、ウォーター、ウレタンフォーム、ゲル、ゴムなどがある。

【体位変換】

changing position

ベッド、椅子などの支持体と接触しているために体重がかかって圧迫されている身体の部位を、身体が向いている方向、挙頭の角度、身体の格好、姿勢などを変えることによって移動させることをいう。

【超音波療法】

ultrasound therapy

生体に超音波 (20,000 Hz 以上) を照射する療法で、連続波による温熱作用とパルス波による機械的振動作用 (非温熱作用) がある。前者は循環の改善、疼痛の緩和、筋スパズムの抑制、鎮静作用など、後者は浮腫の軽減、創傷治癒の促進、経皮薬の浸透などの効果がある。超音波照射時には皮膚に伝播物質 (超音波用ジェル) を塗布する。超音波周波数が高いほど浅層組織での吸収率が高まり、深部には低周波数の超音波を使用する。

【低栄養】

malnutrition

低栄養とは、生体が生命活動を営むうえで必要とされるエネルギー (熱量) や各種栄養素が欠乏した状態をいう。一般に低栄養は、①蛋白と熱量がともに欠乏した状態 (protein energy malnutrition: PEM/marasmus)、②熱量摂取は比較的保たれているが、蛋白欠乏が著しい状態 (protein malnutrition/kwashiorkor-like syndrome) の2つに大別されているが、この2つのタイプの間接型の marasmus-kwashiorkor 型が多い。

【電気刺激療法】

electrotherapy

経皮的に生体に電流を流すことにより、治療効果を得る療法である。交流電流刺激は神経の興奮、筋の収縮により運動機能の改善、運動機能の代行・再建、疼痛の緩和などの効果がある。直流微弱電流刺激では創傷治癒促進効果、イオン導入法による経皮薬の浸透などの効果がある。

【引張応力】

tensile stress

外力によって引っ張られる方向に働く応力である。

【皮膚・排泄ケア認定看護師】

Certified Nurse in Wound, Ostomy and Continence Nursing

創傷・オストミー・失禁看護分野において習熟した看護技術と知識を用い、実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより水準の高い看護実践および看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する看護師。皮膚・排泄ケア認定看護師は日本国の保健師、助産師および看護師のいずれかの免許を有し、実務経験5年以上のうち3年以上は創傷・オストミー・失禁看護分野の経験をもち、日本看護協会認定審査に合格したものである。

【浮腫】

edema

皮膚、粘膜、皮下組織、内臓などの間質に組織間液が過剰に貯留した状態。皮膚では圧迫すると指圧痕が残る。炎症、低蛋白血症により血漿が血管外へ移行して組織間液が増加することや、リンパ管の閉塞や心不全などによる循環不全などにより組織間液の還流が抑制されて生じる。褥瘡発生危険因子の一つである。

【物理療法】

physical agents

生体に物理的刺激手段を用いる療法である。物理的手段には、熱、水、光線、極超短波、電気、超音波、振動、圧、牽引などの物理的エネルギーがある。物理療法には温熱療法、寒冷療法、水治療法、光線療法、極超短波療法、電気刺激療法、超音波療法、陰圧閉鎖療法、高圧酸素療法、牽引療法などがある。疼痛の緩和、創傷の治癒促進、筋・靭帯などの組織の弾性促進などを目的に物理療法が行われる。なお、physical therapy は理学療法一般を示す用語として使用され、混同を避けるため物理療法には治療手段を示す physical agents を慣用的に使用している。

【閉塞性ドレッシング/滲出液保持性ドレッシング】

occlusive dressing/moisture-retentive dressing

創を乾燥させないで湿潤環境下療法 (moist wound healing) を期待する被覆法すべてを閉塞性ドレッシングと呼称しており、従来のガーゼドレッシング以外の近代的な創傷被覆材を用いたドレッシングの総称である。



図 発赤と紅斑，紫斑との関係

【ポケット】

undermining, tunneling

皮膚欠損部より広い創腔をポケットと称する。ポケットを覆う体壁を被壁または被蓋と呼ぶ。

【発赤】

redness

紅斑 (erythema) あるいは初期の紫斑 (purpura) によって生じる皮表の赤みを発赤と総称している。紅斑とは、真皮の毛細血管拡張もしくは充血によってもたらされる皮表の赤みを指す発疹名である。一方、紫斑は真皮内の出血 (赤血球の血管外漏出) により生じる皮表の色調変化である。このように、紅斑と紫斑は明瞭に区別できるものと思われがちだが、その間にはグレイゾーンが存在する (図)。すなわち、紫斑はその名のごとく時間が経つにつれて紫色となるが、出血直後には赤く見えるものの硝子圧では消褪しない。このような場合は暫定的に「持続する発赤」と称し、経過を慎重に観察する必要がある。

【摩擦／摩擦力】

friction

対象の表面に発生している外力である。単位はNで

ある。力が加わっている荷重面と平行した方向に生じる。

着目している部分が静止している場合と、移動している場合とで、摩擦係数には違いがあり、静止時の係数を静摩擦係数、移動時の係数を動摩擦係数という。

【慢性皮膚潰瘍】

chronic skin ulcer, chronic wound

褥瘡，下腿静脈瘤，糖尿病など，血流障害，感染，低栄養などの創傷治癒を遅延させる因子をもった人に生じた難治性皮膚潰瘍。

【水治療法】

hydrotherapy

静水圧，浮力，水中抵抗，温熱，洗浄などの物理的な作用と含有成分による化学的な作用を利用した療法である。局所の水治療法には渦流浴，気泡浴，交代浴があり，全身浴にはハーバード浴，プールがあり，温熱または寒冷効果，創傷治癒の促進，マッサージ効果や運動効果がある。